

質問に対する回答について  
工事名) 秋田自動車道 黒沢トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	<p>特記仕様書 P29 盛土工 盛土工 B1</p> <p>盛土工 B1 の区分内容欄において、「山内トンネル工事から発生した…良質な土砂（土砂 B）及びトンネルずり（第三紀の C 地質及び D 地質）を荷受けし…」とありますが、各土砂の数量内訳もしくは数量割合はどのようになりますでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>盛土工 B 1 における山内トンネル工事からの発生する土砂及びトンネルずりの各地質の数量割合は以下のとおりです。</p> <p>土砂 B 約 20%程度</p> <p>トンネルずり（第三紀の C 地質）約 50%程度</p> <p>トンネルずり（第三紀の D 地質）約 30%程度</p>
2	<p>特記仕様書 P29 盛土工 盛土工 B2</p> <p>盛土工 B2 の区分内容欄において、「山内トンネル工事から発生した…良質な土砂（土砂 B）及びトンネルずり（第三紀の C 地質及び D 地質）を荷受けし…」とありますが、各土砂の数量内訳もしくは数量割合はどのようになりますでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>盛土工 B 2 における山内トンネル工事からの搬出する土砂及びトンネルずりの各地質の数量割合は以下のとおりです。</p> <p>土砂 B 約 20%程度</p> <p>トンネルずり（第三紀の C 地質）約 50%程度</p> <p>トンネルずり（第三紀の D 地質）約 30%程度</p>
3	<p>設計図（参考図）(13/39)</p> <p>田代沢橋（上り線）施工計画図</p> <p>田代沢橋（上り線）施工計画図において、上部工施工の配置等が示されています。特記仕様書および工程表では当該箇所は令和 8 年 4 月初旬に先行使用開始となりますが、①現地作業の開始見込みはいつ頃②図示されている本線上の施工ヤードも引き渡し対象でしょうか。</p>	<p>特記仕様書及び工事工程表に記載のとおり、令和 8 年 4 月初旬に部分使用後、上部工工事が現地作業を開始するものとしてお考えください。</p> <p>また、上部工施工における本線上の施工ヤードは現在協議中であり、詳細は契約後、監督員と協議するものとしてお考えください。</p>

4	<p>数量明細表 数量集計表 2/16 構造物掘削 特殊部 A 数量集計表のうち、構造物掘削 特殊部 A の田代沢橋下部工の数量は 984.5m<sup>3</sup> と示されています。一方、数量計算書_橋梁下部工_田代沢橋の 87/150 ページでは上記数量のうち、205.5m<sup>3</sup> は構造物掘削 (普通部) と示されています。設計数量としては数量集計表が正と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>構造物掘削 特殊部 A の設計数量は、閲覧資料の数量計算書_橋梁下部工_田代沢橋 87/150 頁に記載のある、一般規模構造物掘削 (特殊部) 779.0m<sup>3</sup> と一般規模構造物掘削 (普通部) 205.5m<sup>3</sup> の合計 984.5m<sup>3</sup> となります。よって、数量明細表が正になります。</p>
---	---	--